

“臨床化学” 投稿規定

1. “臨床化学”は、日本臨床化学会の学術機関誌であり、臨床化学に関する論文を掲載する。
2. 投稿者（筆頭著者または連絡先指定著者）は日本臨床化学会会員に限る。
3. “臨床化学”に掲載された記事の著作権は日本臨床化学会に帰属し、記事のすべてまたは一部を転載する場合は、本会の許可を必要とする。
4. 倫理
人を対象とする研究報告はヘルシンキ宣言の精神に則ったり、実施機関の倫理委員会の承認を得て、被験者や患者のプライバシーに配慮し、インフォームドコンセントを得たものでなければならぬ。動物を用いた研究報告は実施機関の動物委員会の承認を得たものでなければならぬ。
5. 論文の書式
 - (1) 使用する言語は日本語とする。
 - (2) 原稿は、楷書で現代かなづかいとし、専門用語以外は常用漢字を用いる。
 - (3) 外国の固有名詞（地名、社名、人名など）には原語を用い、その綴りをワープロで、明瞭に記載する。
 - (4) ワープロを用いる場合はB5判あるいはA4判に横書とし、行間、周囲に余白をとること。また1頁あたりの字数を「25字×24行=600字」というように明記する。
6. 論文の種類
 - (1) 原著論文
臨床化学分野の基礎および応用に関する研究でオリジナリティーに富み、未発表のものに限る。
 - (2) 技術論文
臨床化学分野における技術・機器・試薬の改良、考案など、日常検査にすぐ役立つ新知見を記述するもの。
 - (3) 短報
断片的な研究であるが、新しい事実や広く利用価値のあるデータを含むもの。
 - (4) 速報
重要な新知見で、特に早い掲載を必要とする場合は、速報として投稿できる。
 - (5) 症例報告
学術的に貴重な症例について報告するもの。
 - (6) 編集者への手紙
本誌に掲載された論文・記事に関する感想、反論、異論や、臨床化学及び臨床化学会の活動に関する意見などを含む。
 - (7) ミニレビュー
臨床化学の特定の分野における研究の進歩や動向を簡潔に要約するもの。
 - (8) オピニオン
臨床化学、科学全般、研究、教育、科学政策、科学に関連する社会的問題などに関する主張、仮説、随想などを含む。原則的に編集委員会からの依頼によるが、投稿も受けつける。
7. 論文の審査
 - (1) 編集部に届いた原著論文、技術論文、短報、速報、および症例報告（以下、「論文」という）はまず、学会の指名した審査員2名（以上）によって審査され、その意見に基づいて担当編集委員が採否を決定する。なお、採否に関して疑義のある場合は、編集委員の合議を経て委員長が決定する。
 - (2) 編集者への手紙・オピニオンの採択については、編集委員会が決定する。
 - (3) 論文の内容・文章などについて、編集委員が著者に訂正あるいは疑義の解明を求めることがある。
 - (4) 前項に相当する論文で、特別の理由なく返送に6週間以上を要したときは、返送された原稿の受取日をもって新たな受理日とする。また、原稿の内容が著しく変更されている場合は新規投稿論文として扱い、改めて採否の審査を行う。
8. 原稿の長さ
原則として下記の長さを限度とする。

論文の種類	本文, 文献など	図表
原著	4,800字	2,000字
技術	3,200字	1,200字
短報・速報	2,000字	左に含む
症例報告	3,200字	1,200字
編集者への手紙	800字	左に含む
ミニレビュー	4,800字	2,000字
オピニオン	1,600字	左に含む

9 論文の構成

9.1. 原稿の内容

原稿は①表紙, ②本文, ③引用文献リスト, ④表, ⑤図, ⑥図の説明, ⑦英文表記事項をもって構成する。

9.2. 表紙

表紙には①論文の種類, ②論文表題, ③著者名, ④研究の行われた機関とその所在地, ⑤キーワード, ⑥原稿枚数と表および図の枚数, ⑦連絡先, ⑧別刷請求先, をこの順に記載すること。

(1) 論文表題

漠然としたものや大きすぎる概念のものは避け, 論文内容を適切に示すものとする。化学式や略号を用いてはならない。

(2) 著者名

全員のフルネームを記載すること。

(3) 研究機関名

研究が行われた機関名を正式な名称で明記すること。複数の研究機関による共同研究の場合は, 著者と所属機関の関係をアスタリスク「*」などで明示すること。

(4) キーワード

表題中の語句以外で内容を把握できる重要な語を5~6個抽出し, それぞれをカンマ(,)で区切り, 続けて記載すること。

9.3. 本文

原著論文は原則として, ①要約, ②緒言, ③材料と方法, ④結果, ⑤考察, ⑥謝辞の各項で構成し, この順に配列する。本文の冒頭に表題を重複させないこと。

(1) 要約

著者が特に強調したい結論を含め, 方法や結果を総括するもので, 専門外の読者にも理解で

きるものでなければならない。長さは400字程度を原則とする。特殊な単語や略語の使用および本文中の図や表の引用は避けること。

(2) 緒言

研究の目的および研究の背景を簡潔に記し, その研究の意義や重要性をわかりやすく記述すること。

(3) 材料と方法

実験試料, 試薬, 機器, 方法などについて, その記述と引用文献の参照により, 実験を追試できるように留意すること。特に重要なものについては単に文献引用にとどめず, 原理を簡単に記述すること。測定法などを改良した場合は, その改良点を明確に記述すること。

(4) 結果

結果(事実)のみを客観的に記述すること。結果の説明と解釈を混同してはならない。簡単な結果は本文中で言及するにとどめ, 図表は複雑で重要なものに限ること。また, 同一データを図と表の両方で示すことは避けること。

(5) 考察

結果が得られた過程, 結果の解釈・評価, 他報との比較, 今後の課題などを簡潔に論ずること。結果で述べた事項の反復は避けること。

(6) 謝辞

研究費・試料・試薬などの提供を受けた個人・機関などに対し感謝の意を表する旨を記述すること。

9.4. 引用文献リスト

引用文献には, 本文中の引用順に番号をつけること。

(1) 雑誌に掲載された論文を引用する場合

①文献番号, ②著者名(共著者が6名以下の場合は全員の名前を列記し, 「他」「et al.」を使わない), ③論文表題, ④雑誌名, ⑤巻数, ⑥引用ページ(最初と最後), ⑦発行年号(西暦)の順に記載する。

(2) 雑誌名の略記

連続して同一雑誌を引用する場合は, 2回目以降の雑誌名を省略し「ibid」「同」を使用してもよい。また, 欧文雑誌の引用の場合, 誌名は国際的慣用にしたがって略記することができる(Index Medicus のリスト参照)。

(3) 掲載決定の通知を受けた投稿論文を引用するときは、雑誌名のあとに「(in press)」または「印刷中」と書く。投稿中の論文は、引用リストに加え、本文中に「(著者名, 投稿中)」の形で記述する。

(4) 単行本を引用する場合

①文献番号, ②著者名, ③書名(省略しない), ④巻数(もしあれば), ⑤引用ページ(最初と最後)または全ページ数, ⑥発行所, ⑦発行都市名, ⑧発行年号(西暦)の順に記載する。

(5) 複数論文を編集した単行本の中の1論文を引用する場合は、原論文表題の後に「in 書名」を記入し、次に「ed (s). 編者名」を記載する。

(6) 翻訳書を引用する場合

①文献番号, ②訳者名(後に「訳」を付ける), ③訳本名(原著者名を記載し「著」の文字を入れる), ④引用ページ, ⑤訳本発行所, ⑥発行都市名, ⑦訳本発行年号(西暦)の順に記載すること。

(7) 上記文献リストの項目間には、下記の例にしたがってコンマ(,)やコロン(:)を適切に用いること。著者名のイニシャル、誌名の略記にピリオドは用いない。

(8) 文献表示例

[雑誌の場合]

- 1) Ueda K, Nakajima H, Nakagawa T, Shimizu A: The association between hepatitis C virus infection and in vitro activation of the complement system, *Ann Clin Biochem*, **30**: 565-569, 1993.
- 2) 藤波 綾, 宮澤 正, 小林吉晴, 渡邊富久子: 固相抽出による尿中ベンツフェタミン代謝物のHPLC測定法の開発, *臨床化学*, **25**: 243-252, 1996.

[単行本の場合]

- 1) Wallach J: Interpretation of Diagnostic Tests. A Synopsis of Laboratory Medicine, 5th ed, p. 82-107, Little Brown and Co., Boston, 1992.
- 2) 市原清志: バイオサイエンスの統計学, 378p., 南江堂, 東京, 1990.
- 3) Hamasaki N, Shibako M, Ideguchi H, Sugisaki S, Kohsaka T: Serum phosphohexose isomerase (in Quality Control in the Clinical Laboratory

'91, eds Kawai T, Ohba Y, Kanno T, Kawano K, Ueda K, Tatsumi E), p. 193-198, Excerpta Medica, Ltd., Tokyo, 1992.

[翻訳書の場合]

- 1) 川喜多正夫訳: 分子生物学の基礎 (Freifelder D 著), p. 61-64, 東京化学同人, 東京, 1989.

9.5. 英文表記事項

本文とは別に、英文で①論文表題, ②著者名, ③研究の行われた機関と所在地, ④『Summary』(250語以内), および⑤『Key words』(5-6語)を日本語に準じて記述したものを添付すること。

10. 図と表

図(概要図, ダイアグラム, 写真を含む)は原稿から直接製版するため、描線の太さ, 文字の大きさ, 縮尺率などにとくに注意すること。著者と相談のうえ編集部においてトレースすることがあるが、この場合は実費を請求する。

(1) 図表には「図1」, 「表1」などとアラビア数字で番号をつけること。また、それぞれに表題と、本文を併読しなくてもわかる程度の簡単な説明をつけること。材料と方法および他の図表に記述されている実験条件は反復して記載せず、それらを引用すること。

(2) 表題, 説明および図表中の語句は本文中と統一すること。

(3) 図の表題および説明は別紙に番号順にまとめること。

(4) 写真はモノクロに限る。キャビネ判に焼き付け、裏に著者名と図の番号を記すこと。

(5) 写真や小さな図はA4判の台紙に軽く貼りつけ、上方向がわかるように矢印で指示すること。

(6) 他の著作物より図・写真等を転載する場合は、執筆者の責任において、原著者および出版者の許可を得、出典を明記すること。

11. 物理化学量および単位など

度量衡などの単位は、SI単位の使用を原則とする(本誌23巻1号「SI単位換算表」を参照)。なお必要に応じて、初出の箇所に、慣用単位を併記することができる。

[SI単位使用上の注意]

1) 接頭語を二重に用いない。

$\mu\mu g$ ($\gamma\gamma$) は pg とする。

2) 長さに関する単位

μ は μ m, $m \mu$ は nm, \AA は 0.1 nm または 100 pm とする.

3) 容量に関する単位

L (エル) を用い, dm^3 , cc, mm^3 などそれぞれ L, mL, μ L とする.

4) 物質に関する単位

分子量の明らかな物質は mol 表示とする.

5) 濃度に関する単位

① 分子量の確定している物質の濃度は mol/L 表示とする. 図表などで慣用単位として M を用いる場合は「…の濃度 mol/L は M と表記する」のように明示したうえで使用する.

② $5 \mu\text{g/ml}$ は 5mg/L , 100mg/dL は 1g/L または $1,000\text{mg/L}$ とし, 原則として分母に接頭語はつけない.

6) その他の単位

mol/min/L は, $\text{mol/min} \cdot \text{L}^{-1}$ または $\text{mol} \cdot \text{min}^{-1} \cdot \text{L}^{-1}$ とする.

原稿作成に当たっては「L」(エル)と「1」(いち), u (英字)と μ (ギリシア文字)などを明確に区別して用いること.

12. 掲載料および別刷

12.1. 掲載料不要

12.2. 原著論文の特別掲載

学位論文等で原著論文の至急掲載を希望する場合は, その旨を明記すること.

12.3. 別刷

別刷は 30 部贈呈. それ以上は有料 (1 部 100

円)とする. 別刷の部数は著者校正時に問い合わせる. なお, 本誌印刷後の追加や部数の変更は, 再印刷となるので, 実費を請求する.

13. 原稿の送付方法と送付先

原稿 1 部のほか, 必ず査読用のコピー 2 部 (写真は査読コピー用も必ずオリジナルプリント)を付けて, 簡易書留で下記あて送付すること. 改訂を条件に掲載可とされた論文の再投稿に際しては, 変更箇所を清書し, 審査意見とそれに対する回答を添付すること.

〔送付先〕

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-10-605

(株) エム・シー・アイ内

一般社団法人日本臨床化学会 事務局

TEL 03-3354-2006 FAX 03-3354-2017

なお, 原稿は原則として著者に返却しない.

14. その他

本誌に掲載された論文は, “Chemical Abstracts” 誌, “Clinical Chemistry Lookout” 誌に英文サマリーが採録される. なお, 日本臨床化学会は, 英国臨床化学会及びオランダ臨床化学会と提携して Annals of Clinical Biochemistry 誌を共同編集しており, 同誌を日本臨床化学会の英文機関誌としている. 英語論文は同誌へ直接に電子投稿すれば, 日本臨床化学会会員により迅速に審査を受けることができる.

Annals of Clinical Biochemistryのホームページ:
<http://acb.rsmjournals.com/>

(2011 年 8 月 26 日改訂)

Annals of Clinical Biochemistry

Notice to Contributors

Scope

The Annals of Clinical Biochemistry accepts papers that contribute to knowledge in all fields of clinical biochemistry, especially those appertaining to the understanding, diagnosis, and treatment of disease in humans. It publishes papers on clinical audit, metabolic medicine, immunology, genetics, biotechnology, haematology, computing and management where they have both biochemical and clinical relevance. Papers describing evaluation or implementation of commercial reagent kits or the performance of new analysers require substantial original information. The Journal's requirements are in accordance with the Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals as defined at <http://www.icmje.org/> by the International Committee of Medical Journal Editors. Contributions should be submitted for publication under the following section headings:

Original Articles describe substantial original research that falls within the scope of the Journal.

Short Reports include brief technical notes and preliminary communications. These should be less than 1000 words, only have one small figure or table, and have no more than six references. Structured headings, including a conclusion, are desirable.

Reviews are of a substantial and topical nature. These are generally invited.

Personal Views pertinent to clinical and scientific developments or to the practice of clinical biochemistry. These are generally invited.

Case Reports describe clinical cases which have significant original observations, are instructive, include adequate methodological details and provide conclusions.

Letters to the Editor arise normally but not exclusively from papers published in this and other scientific journals. Letters should be submitted online.

Book Reviews are commissioned by the Book Review Editor, Dr William Marshall, c/o ACB Office, 130-132 Tooley Street, London SE1 2TU, UK.

Preparation of Manuscripts

Manuscripts should be prepared in accordance with the guidelines below and should be submitted online at <http://mc.manuscriptcentral.com/acb>. All submissions must be in English. Manuscripts must be submitted using double line-spaced, unjustified text throughout, with headings and subheadings in bold case. Press ENTER only at the end of a paragraph, list entry or heading. The first page should contain the full title of the manuscript, a short title, the name(s) of the author(s), their affiliation(s), and the name, postal and email addresses of the author for correspondence. Files should be entered in the following order:

- (1) Main body of text, including title, authors' addresses, abstract & references
- (2) Tables
- (3) Figures
- (4) Supplementary files
- (5) Authors' copyright proforma (see below).

Title

The title should be short and informative, indicating the contents concisely and adequately.

Abstract

A structured abstract of no more than 250 words must accompany all Original Articles and Short Reports. The abstract should normally use four headings: Background (context and rationale); Methods (type of study, patients, materials, techniques); Results (main numerical data and statistical information) and Conclusions (main objective and verifiable conclusions). Reviews, Personal Views and Case Reports should contain an abstract of up to 250 words. Letters to the Editor do not require an abstract.

Statistical guidelines

If preparing statistical data for publication please read the Journal's statistical guidelines, at <http://www.rsmppress.co.uk/acbstats.pdf>

References

Only essential references should be included. Authors are responsible for verifying them against the original source material. References should be identified in the text by superscript Arabic numerals after any punctuation, and numbered and listed at the end of

the paper in the order in which they are first cited in the text. Automatic numbering should be avoided. References should include the names and initials of all authors (unless there are more than six, when only the first three should be named, followed by et al.). Publications for which no author is apparent may be attributed to the organization from which they originate. Simply omit the name of the author for anonymous journal articles – avoid using 'Anonymous'. Medline abbreviations (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?db=journals>)

should be used for journal titles. Punctuation in references should be kept to a minimum, as shown in the following examples:

1 Baynes J, Dominiczak M. Medical Biochemistry. Philadelphia: Mosby, 1999

2 Collinson PO, John C, Lynch S, et al. A prospective randomized controlled trial of point-of-care testing on the coronary care unit. *Ann Clin Biochem* 2004; 41: 397–404

Abbreviations

Symbols and abbreviations should be those currently used in the *Annals of Clinical Biochemistry*. Authors should not create new abbreviations and acronyms. The Biochemical Society's booklet *Instructions to Authors* and the RSM's booklet *Units, Symbols and Abbreviations* both provide lists of approved abbreviations.

Units

All measurements should be expressed in SI units (see Baron DN, et al. The use of SI units in reporting results obtained in hospital laboratories. *Ann Clin Biochem* 1974; 11: 194-202).

Tables

Tables should not duplicate information given in the text. They should be numbered in the order in which they are mentioned in the text, be given a brief title, and each should be typed on a separate sheet in double-spacing using the Table feature of the word processor to prepare them. Vertical rules should not be used.

Figures

All figures should be numbered in the order in which they are mentioned in the text. All photographic figures should be submitted in 'camera-ready' form (i.e. with all extraneous areas removed) at high resolution, preferably as 600 dpi TIFF files. Line drawings should be professionally prepared and labelled (freehand lettering is not acceptable) and should also be saved at high resolution. Charts may be supplied as Excel spreadsheets (one chart per sheet). Where necessary, magnification should be shown using a scale marker. The figure legends (one per figure) should appear as a separate page at the end of the main text file. Any previously published illustrations should be accompanied by the written consent to reproduction of the copyright holder and an acknowledgement should be included in the legend. The full reference should also be included in the reference list.

Author copyright proforma

A copy of the proforma signed by all the authors must accompany each submission to the *Annals*. The current version of the proforma can be downloaded from <http://www.rsmppress.co.uk/proform.pdf>. The proforma can be scanned and uploaded with your submission as a supplementary file or posted to the ACB Office, 130-132 Tooley Street, London SE1 2TU, UK.

Other information

Page proofs will be sent electronically to the author for correspondence and must be returned promptly by fax or post. Corrections should be kept to a minimum.

Offprints are available. An order form accompanies all proofs: offprints should be ordered from the publisher (Royal Society of Medicine Press) and paid for when proofs are returned. Offprints of Letters to the Editor are not available, but these may be freely copied by their authors.

*投稿先URL :

<http://mc.manuscriptcentral.com/acb>
(電子投稿のみ)

**筆頭著者または連絡先指定著者は日本臨床化学会会員および購読者でなければならない。